『門番小僧、黙れ!』『薬を切らなければ皆殺しだ!』

― 患者の危機から日本と世界の危機を見据えて ―

精神科医　栗本 藤基　著

〈 ご購読のおすすめ 〉

日々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、栗本藤基による標記の著書が出版されました。
是非ご一読をお薦めいたしたく、ご案内を差し上げます。

令和３年９月 吉日
出版世話人一同

「表題は精神科医である著者に患者から投げかけられた言葉であり、本書はそれを受けての活動記録である。
なお本書はコロナ危機の状況下、最悪の場合を考えて、著者が自身の半生を振り返り、後世に伝えるべく、
約47年間の実践の現場からの記録を中心にしたものである。」

――――――――本文より

【目　次】

第一章　先人の危機克服の実践に学ぶ
i. 父の辿った道　／　ii. 弟・正剛　／　iii. 私の出生から精神の危機へ　／　iv. 中村天風　／　v. 玉井袈裟男
第二章　「門番小僧、黙れ!」（I・M）（患者の危機・信州）
i. 患者I・Mを巡って　／　ii. 吉本伊信　／　iii. 岡村昭彦
第三章　「薬を切らなければ皆殺しだ!」（K）（病院の危機から日本の危機を見据える）
i. 滋賀里病院の現実　／　ii. 文道（演劇に学ぶ）　／　iii. 医道（坐禅、内観：自己活性化法）　／　iv. 農道（農に学ぶ）　／
v. 武道（武に学ぶ）　／　vi. 新しい精神医療モデル・現代社会の遭難者　／　vii. 新しい面接方法・三空間五段階面接　／
viii. 劇的表現による場の検証（A.『我が病院』　／　B.『精神病医者の演劇申し込み』　／　C.『破れ獅子舞　豊穣の舞』　／
D. 現代版『罪と罰』　／　E.『精神の破壊と創造』:「精神医療という虚構」打破の闘い　／　F.『コロナ』）
第四章　「無」を選んだ弟正剛（世界の危機）
ii. 陰陽=危機克服の世界観から　／　ii. 私の自己点検　精神之道場　書・詩・歌・絵などを通じて

著者　栗本 藤基（くりもとふじき）

1945年生
精神科医
医療法人藤樹会 滋賀里病院　理事長・院長

1 制作にあたり「今や世界は・・・」

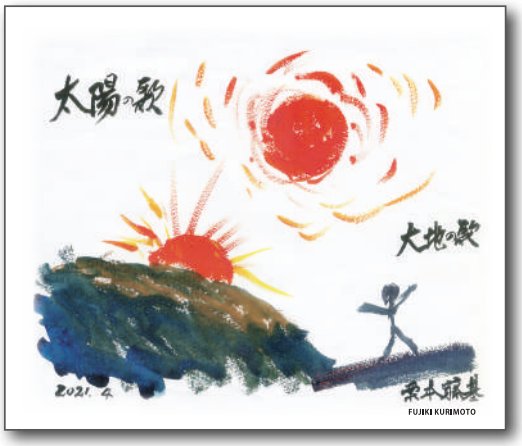
2 太陽の歌　大地の歌
栗本藤基／作詞・作曲

3 意気高らかに
栗本藤基／作詞・作曲

4 海ゆかば
（万葉集 749）大伴家持　信時潔／作曲

5 箱根八里
鳥居 忱／作詞　瀧 廉太郎／作曲

収　録■2021 年 4 月 15 日　滋賀里病院 院庭
表紙・裏表紙 絵■栗 本 藤 基



CD「太陽の歌・大地の歌」
歌：栗本藤基
税込定価 1,200 円

医療法人 藤樹会　滋賀里病院（精神科・心療内科）
理事長・院長　栗 本 藤 基
〒520-0006　滋賀県大津市滋賀里 1-18-41
https://www.shigasato.or.jp　TEL 077-522-5426
E-mail：shigasato-hospital@shigasato.or.jp

購入申込書

冊子①　精神科医　栗本 藤基　著　　2021年9月発行

『門番小僧、黙れ!』『薬を切らなければ皆殺しだ!』

― 患者の危機から日本と世界の危機を見据えて ―

A5判　ハードカバー　縦書右綴横本　566p　ISBN978-4-9903379-1-9

本体定価 2,800円(税込) ＋ 送料 1 冊あたり 550円(税込)

冊子②　精神科医　栗本 藤基　著　　2008年4月発行

― 精神科病棟から日本の未来を ―　**『精神の破壊と復興』**

四六判(188 × 131㎜)　ハードカバー　縦書右綴縦本　412p　ISBN978-4-88242-202-0

本体定価 2,000円(税込) ＋ 送料 1 冊あたり 550円(税込)

CD　**『太陽の歌・大地の歌』**　歌：栗本 藤基　　2021年7月

本体定価 1,200円(税込) ＋ 送料一律 500円(税込)

お申込日(必須)							
お申込内容							
冊子①(送料含む)	3,350円(税込)	×	冊			＝	円
冊子②(送料含む)	2,550円(税込)	×	冊			＝	円
CD	1,200円(税込)	×	枚	＋	送料一律 500円(税込)	＝	円
※冊子ご購入の場合、CD の送料は不要です	合計						円

フリガナ ご氏名（必須）			
発送先ご住所(必須)	〒　　－		
発送先電話番号(必須)	－　　－	携帯電話	－　　－
E メール			
通信欄			

※「FAX」もしくは「郵送」にて、上記の書式でお申し込みください。ご入金が確認でき次第、上記に記載のご住所あてに発送させていただきます。

申込先 FAX　077-522-8291

【お申込先】〒520-0006　滋賀県大津市滋賀里 1 丁目 18-41
医療法人藤樹会　滋賀里病院
TEL：077-522-5426　／　FAX：077-522-8291

【お振込先】滋賀銀行本店営業部　普通　口座番号：893343
口座名：イ）トウジュカイ　シガサトビョウイン

※振込時のメッセージ欄に必ず、上記に記載の「申込者のフリガナ」をご記載願います。
　あわせて、同欄に「ホンコウニユウ」とご記入ください。
※金融機関への振込手数料はご負担願います。

— 精神科病棟から日本の未来を —

『精神の破壊と復興』

精神科医　栗本 藤基　著

2008年4月発行

〈 ご購読のおすすめ 〉

医療・福祉・看護・教育・政治関係者
必読の書

精神科病棟ドキュメント
自他破壊の行動に出た人にどう向き合ったか！

現代社会の人間精神を破壊しかねない諸要素を見つめ、まず病棟を精神復興の拠点とするべく闘った

本書の特色

一、この本は、実際に精神科医療の現場で、病棟の改革と患者の自立に取り組んだ筆者自身の手記によるドキュメントである。

一、Ⅰ章「人間精神の復興への戦い」は、現在（1991年以降現在に至る）筆者が経営する滋賀里病院にあって、筆者自身が自他破壊に追い込まれた患者に対して、「演劇」や「自己活性化法」による人間精神の復興をめざした精神科医療の実践記録。

一、Ⅱ章「精神科病棟の虚構性」は、長野県厚生農協連安曇病院において1976年から1990年、バイオエシックスの理念の展開を目指し、精神科病棟を病人収容所からコミュニティへ、さらに「ここを日本の人間精神解放の拠点としたい」とした、岡村昭彦氏による病棟改革の現場での問いかけ、そしてそれを受け入れた筆者、そしてボランティア・看護師による記録。

一、Ⅲ章「精神科病棟の目指すもの」では、Ⅰ、Ⅱ章の展開に至る、筆者自身の生き方に深い影響を与えた先達の思想とその受け止めについて素描し、筆者の実践のルーツと、今後への展望を明らかにしている。

推薦します

自他破壊行動を直視した、
人間精神の復興への闘争記

最近、世に突如として発生する理由の明瞭でない、家族や他人に対する無差別殺人。このような人々の背景の原因、さらに建て直しの状況は市民には良く伝わってこない。このような中にあって、精神科医である筆者は、現実に登場してきた精神の破壊に陥った患者にどう関わろうとしたのかを率直に述べている。

何よりも、医師としての無知、貧困が、患者を歪め、彼らの人間としての権利を奪ってきた点が大きいと述べる。外部から批判を受けることのない状況を見つめ、世にさらし、批判を敢えて受け、謝罪、反省を加えている。

本書に登場するベトナム戦争を取材した岡村昭彦氏は、人間精神の復興には、一国の精神文化を高めると同じ覚悟と努力がいると精神科医である筆者、看護者に問いかけた。

ともあれ、本書は現代社会で起こっている陰惨な自他破壊行動の実態、背景と同時に、そのような人々に、常に自己を凝視しつつ、どう関わったかの貴重な報告といえよう。こうした現実を見つめ、日本の未来のあり様を考えるにあたって福祉関係、看護関係者はもちろん、教育関係者、政治関係者など、多くの人々にお勧めしたい本である。　（某読者より）